



Control Contractor Series 天井埋込用スピーカーシステム 取扱説明書

対象商品型番

- Control 24C
- Control 26C
- Control 19CS
- Control 24C Micro
- Control 24CT Micro Plus
- Control 24CT
- Control 26CT
- Control 19CST
- Control 24CT Micro



このたびは、JBL PROFESSIONAL Control Contractor Series 天井埋込用スピーカーシステムをお買上げいただき、誠にありがとうございます。設置する前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあと、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

• 安全上のご注意.....	2
• 設置の前に	3
付属品	
各部の名称	
• 設置の仕方	4
• 接続の仕方	6
• 塗装の仕方	7
• 仕様	8

■安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

 警告	この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

●スピーカー本体の不良以外で発生した事故や取扱説明書に記載されている事項を無視して発生した事故、設置方法の不備による落下などの事故に対する責任は一切、弊社は負いかねますのでご了承ください。

警告

- ・スピーカーを水に入れたり、濡らさないでください。火災や感電の原因となります。
- ・取り付け工事は建築関連法に則り、技術と経験を持った専門業者が行ってください。
- ・平坦かつ厚さが均一で重量に耐えられる天井に取り付けてください。強度が不十分な場合には落下事故などの原因となります。取り付け場所の選定には十分注意し、補強作業を施して安全を確認した上で取り付けてください。
- ・スピーカー本体のサポートポイントに設置状況に応じたワイヤーを通しておくなど、落下防止対策を十分施してください。
- ・振動する場所、油の付着しやすい場所、風呂・シャワー室など湿気の多い場所やほこりの多い場所には設置しないでください。金具の劣化による落下や火災の原因となります。
- ・可燃性ガスが発生する場所で使用しないでください。爆発し、火災やけがの原因となります。
- ・配線は正しく行ってください。誤配線によるショートなどは火災の原因となります。
- ・過大入力を加えないでください。火災の原因となり危険です。
- ・分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- ・接続ケーブル類が傷んだら（芯線の露出、断線など）交換してください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- ・煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、破損したなどの異常があるときは、ただちにパワーアンプの電源を切って使用をやめ、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。

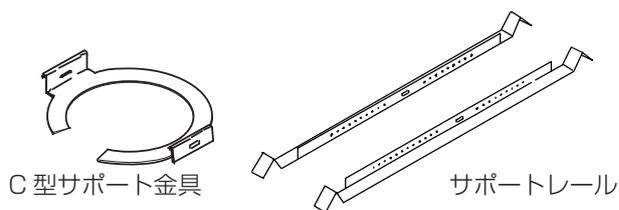
注意

- ・万一、落したり破損が生じた場合は、取り付けずに修理を依頼してください。そのまま取り付けると、火災や落下の原因となることがあります。
- ・付属品などの金属のエッジでけがをすることがあります。十分気をつけてください。
- ・配線はアンプの電源を切ってから行ってください。感電の原因となり危険です。
- ・ねじなどの固定部位の締め付けはしっかり行ってください。部品の落下などでけがや器物破損の原因となります。
- ・パワーアンプの電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- ・長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- ・取り付け部が劣化すると、落下などの原因となります。定期的に点検をしてください。
- ・廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

■設置の前に

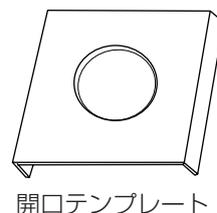
*付属品をご確認ください。

C型サポート金具 2個
 サポートレール 2組(4本)
 金具固定ねじ 4個
 開口テンプレート 2枚
 塗装用シールド 2個

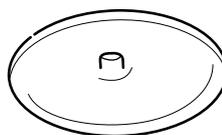


Control 24C/CT Micro Control 24CT Micro Plusのみ

ケーブル固定金具 2個

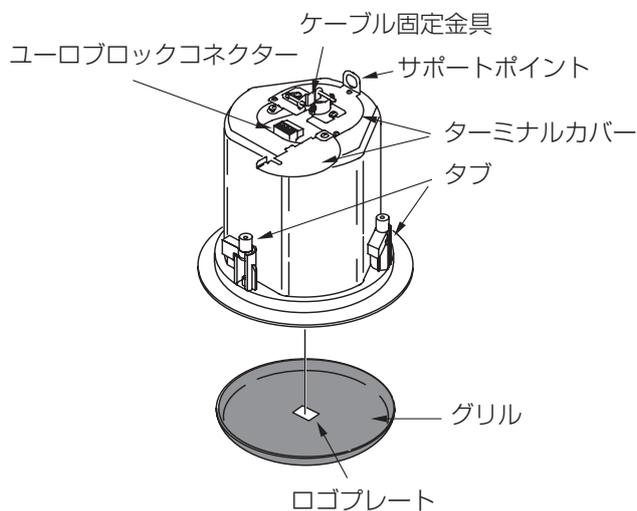
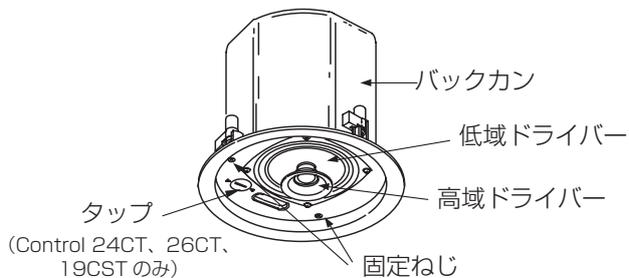


(Control 24C/CT Micro,
 Control 24CT MicroPlusのみ)

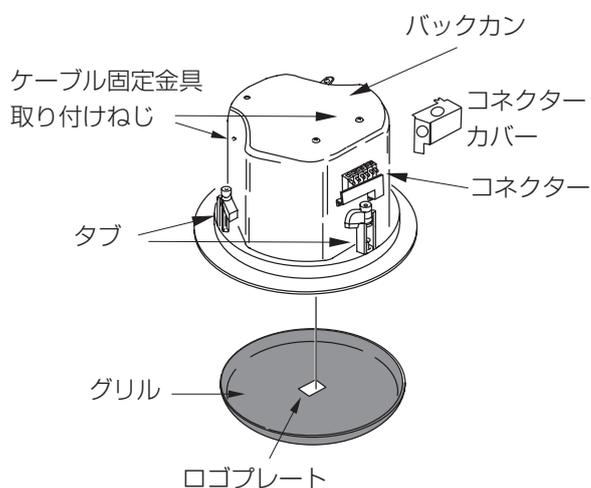
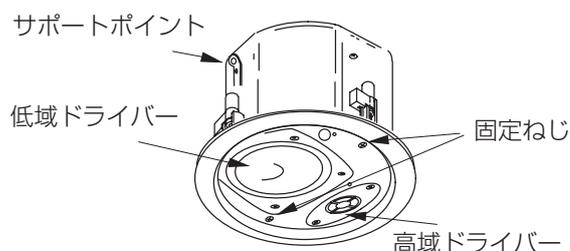


*各部の名称

Control 24C/CT Control 26C/CT Control 19CS/CST



Control 24C/CT Micro Control 24CT Micro Plus



■設置の仕方

お願い

設置する天井の構造によっては、スピーカーからの出力によって天井が共振して音質を損ねてしまうことがあります。取り付けの際に十分な補強を行って、天井が共振しないようにしてください。

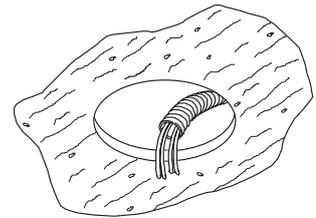
1. 天井に穴を開ける

- ① 開口テンプレートを天井にあて、開口のためのけがき線を描く。開口部の径が合わないと取り付けられなくなるため、必ずテンプレートをご利用ください。

24C/CT	26C/CT	19CS/CST	24C/CT Micro	24CT Micro Plus
φ167mm	φ220mm	φ305mm	φ168mm	φ168mm

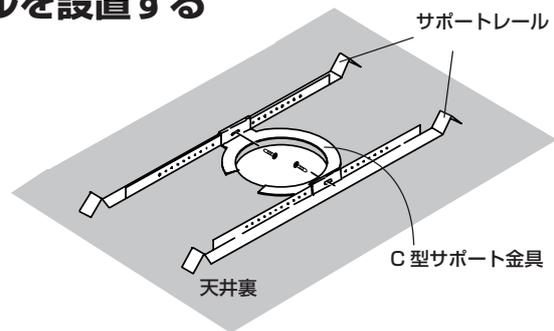
- ② けがき線に沿って穴を開け、アンプからのケーブルを開口部から引き出す。

*穴を開ける際に、破片や粉などが目に入らないように気をつけてください。



2. C型サポート金具とサポートレールを設置する

- ① 右図のように、サポートレールのねじ穴が開いている面を向き合わせ、サポートレールができるだけ開口部の中央にくるように天井裏に置く。
- ② C型サポート金具を天井裏に入れ、サポートレールにはめ込む。
- ③ C型サポート金具とサポートレールの接点部分2カ所を、金具固定ねじで内側から止める。

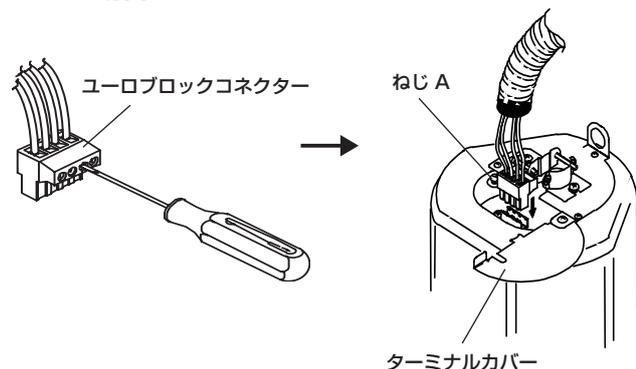


3. 結線し、ケーブルが抜けないように金具で固定する (接続の仕方は P.6 ~ 7 参照)

Control 24C/CT、26C/CT、19CS/CST の場合

結線する

- ① ターミナルカバーの左側にあるねじ A を緩めてターミナルカバーを回し、ユーロブロックコネクタを取り外す。
- ② 各結線部にケーブルを入れ、小型のマイナスインドライバーで固く締める。
- ③ 結線したユーロブロックコネクタを本体のソケットに戻す。



ケーブルを金具で固定する

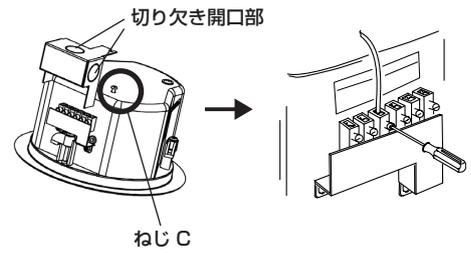
- ① 金具のねじ B を外し、ケーブルを入れる。
- ② ケーブルを金具の平面部分で挟まないように気をつけながら、ねじ B を締める。
- ③ ターミナルカバーを戻し、ねじ A を締める。

Control 24C/CT Micro、Control 24CT Micro Plus の場合

結線する

- ① コネクタの上部にあるねじ C を外してコネクタカバーをとる。
- ② コネクタカバーの任意の切り欠き開口部を開け、ケーブルを入れておく。
- ③ 小型のマイナスドライバーで必要な端子部のねじを緩めてケーブルを入れ、ねじを締めて結線する。

* コネクタの拡大図および結線方法の詳細は P.7 にあります。



ケーブルを金具で固定する

- ①
 - ②
- コネクタカバーをバックカンに密着させる。
- ケーブル固定金具の輪の中にケーブルを通す。外していたねじで、コネクタカバーと一緒に固定する。
- * 設置する天井裏の奥行に余裕がなく、バックカンの上部にケーブル固定金具を取り付けられない場合は、コネクタの左面にあるねじにケーブル固定金具を取り付けて、ケーブルを固定してください。
- ケーブル固定金具
取り付けねじ

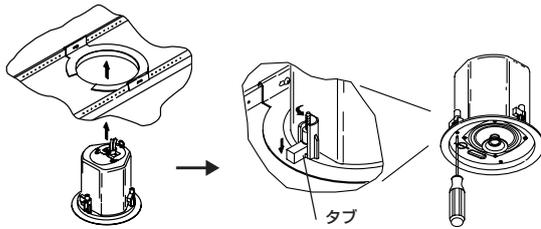
4. 天井に固定する

- ① 天井とスピーカーでケーブルをはさまないように、ゆっくりとスピーカー本体を天井に押し上げる。

* Control 24C/CT Micro、Control 24CT Micro Plus は、コネクタカバー側から天井に押し上げてください。

- ② プラスドライバーを時計回りにまわして固定ねじを締める。締め過ぎるとねじが切れてしまうため、固定ねじを締め過ぎないように注意する。

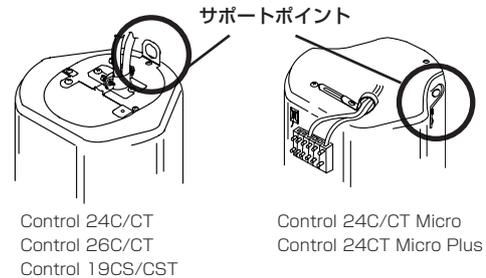
* 最初の回転でタブが溝にはまります。ねじを回すごとにタブが下がり、天井を押さえ込みます。



警告

サポートポイントにワイヤーを通し、頑丈なC 鋼などにつなぎ、必ず落下防止対策を施してください。

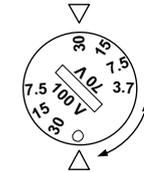
ワイヤーの長さや太さは、スピーカーの重量、設置状況を考慮して適切なものをご用意ください。



5. 出力トランスを設定する (Control 24CT、Control 26CT、Control 19CST のみ)

スピーカーフロント面にあるタップを回して出力トランスの設定をする。

- * Control 24CT Micro と Control 24CT Micro Plus は、結線時に出力トランスのタップを決めるため、この作業は必要ありません。

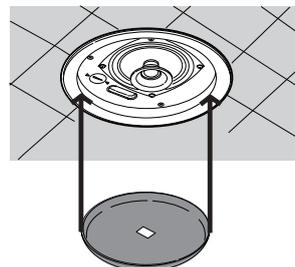


6. グリルをはめる

キャビネット前面にグリルを合わせ、奥まではめ込む。

注意

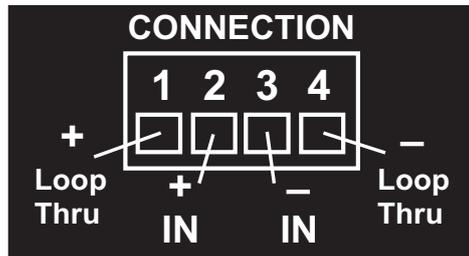
はめ込みが不十分だとグリルが落下する恐れがあります。しっかりはめ込んでください。



■接続の仕方

Control 24C/CT、26C/CT、19CS/CST の場合

ユーロブロックコネクタは4つのターミナルから構成されており、ターミナルカバー上に右図の様に表示しています。ターミナル2は「+」、ターミナル3は「-」のスピーカーインプットです。スピーカー内部でターミナル2は1に接続しており、ターミナル3は4に接続しています。

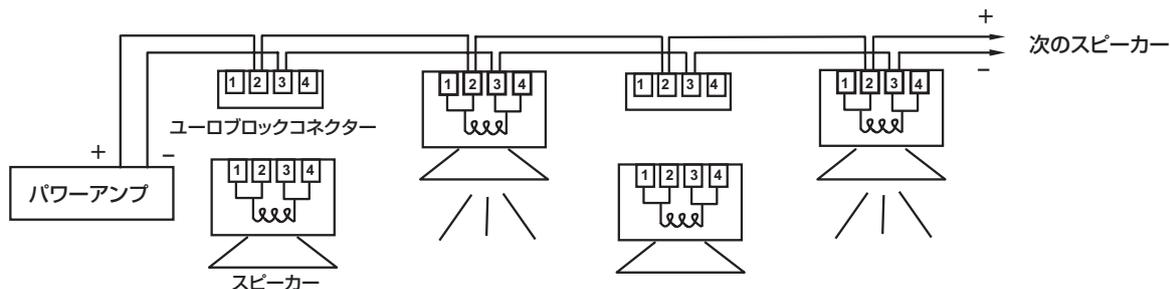


2台以上のスピーカーを接続する方法は2通りあります。使用状況により接続方法を選択してください。

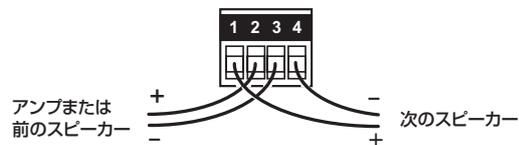
●並列接続



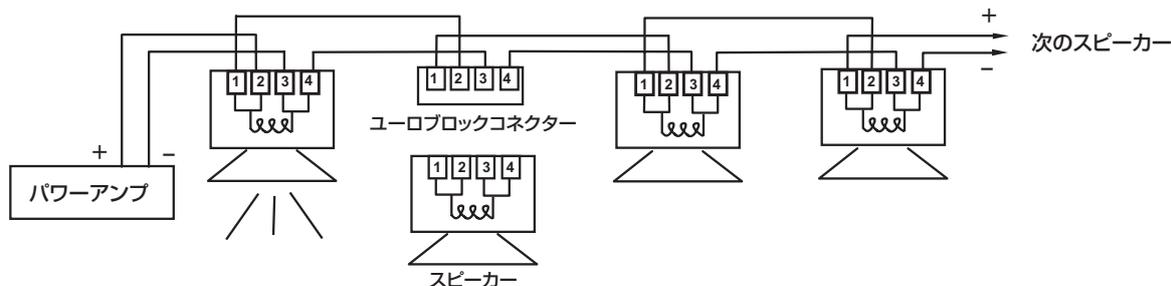
左図の接続方法では、万が一、あるスピーカーにトラブルが生じた場合でも、ユーロブロックコネクタにケーブルが接続されていれば、そのスピーカーを取り外しても他のスピーカーは正常に動作します。



●ループスルー接続



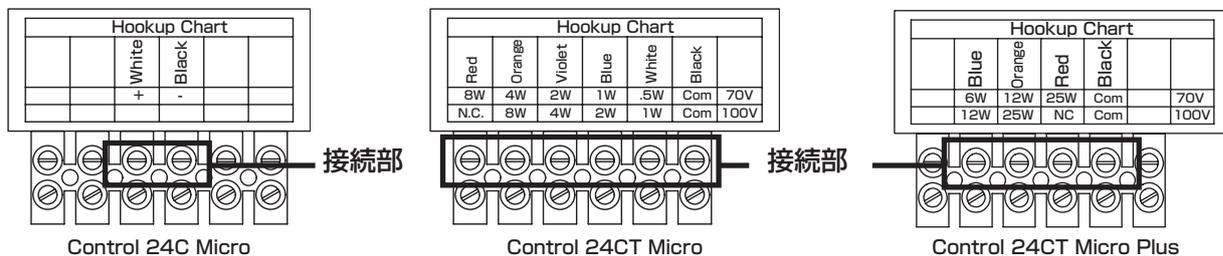
左図の接続方法では、ユーロブロックコネクタをスピーカーから取り外すと、それ以降のスピーカーはパワーアンプから切り離されるため、動作しなくなります。トラブルの特定および対処に有効です。



Control 24C/CT Micro、Control 24CT Micro Plus の場合

スピーカー本体の側面にあるコネクターは6つのターミナルから構成されており、各ターミナルの割り当ては「Hookup Chart」に表示しています。

コネクター拡大図



Control 24C Micro は、ロー・インピーダンス仕様です。「+」と「-」の2つのターミナルがあります。「+」のケーブルは「+」ターミナルへ、「-」ケーブルは「-」ターミナルへ接続します。接続部以外のターミナルは使用しないでください。正常に動作しなくなります。2台以上のスピーカーを並列接続する場合は、アンプからの「+」ケーブルと次のスピーカーへつなぐ「+」ケーブルを「+」ターミナルと一緒に接続します。「-」ターミナルも同様にそれぞれの「-」ケーブルと一緒に接続します。

Control 24CT Micro と Control 24CT Micro Plus は、トランス内蔵のハイ・インピーダンス仕様で、70V および 100V ラインに対応しています。「+」ケーブルはトランスのタップに対応したターミナルへ、「-」ケーブルは「Com」と表示されているターミナルへ接続します。例えば、Control 24CT Micro の 100V ライン / 4W のタップで接続する場合、「+」ケーブルは「4W , Violet」ターミナルへ接続し、「-」ケーブルは「Com」ターミナルへ接続します。2台以上のスピーカーを並列接続する場合は、アンプからの「+」ケーブルと次のスピーカーへつなぐ「+」ケーブルを一緒にトランスのタップに対応したターミナルに接続します。「Com」ターミナルも同様にそれぞれの「-」ケーブルと一緒に接続します。

■塗装の仕方

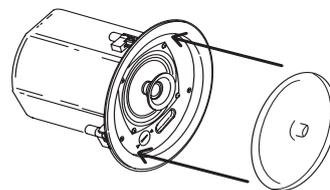
Control Contractor Series 天井埋込用スピーカーシステムは、設置環境に合わせて縁とグリルを塗装できます。

縁の塗装

① ドライバーとバツフルに塗装用シールドをかぶせる（右図）。

② ラテックス塗料や油性塗料で薄く重ね塗りする。

- * 縁はポリスチレン製です。ラテックス塗料や油性塗料をご使用ください。
- * 塗りむらをなくすため、二度以上の重ね塗りをおすすめします。
- * 油性塗料をベースにラテックス塗料を重ね塗りすると、しっかり塗装できます。
- * 塗装した縁は完全に乾かしてください。



グリルの塗装

① グリルの表面にあるロゴプレートとグリル裏面のスポンジを取り外す。

② スプレー塗料で塗装する。

- * 網目が詰まってしまう恐れがあるため、ローラーやブラシは使用しないでください。
- * 塗装したグリルは完全に乾かしてください。

③ スプレーのりなどを使って、ロゴプレートとスポンジを取り付ける。

仕様

	Control 24C	Control 26C	Control 19CS
周波数レンジ (-10dB)	80Hz ~ 20kHz	75Hz ~ 20kHz	42 ~ 200Hz
カバーレージ角 (500Hz ~ 4kHz 平均)	130°	110°	—
許容入力 (プログラム / ピンク)	80W/40W* ¹	150W/75W* ¹	200W/100W* ²
感度 (1W, 1m)	86dB SPL	89dB SPL	89dB SPL
公称インピーダンス	16 Ω	16 Ω	8 Ω
トランス・タップ	—	—	—
ドライバー構成	LF 4 インチ (102mm) HF 0.75 インチ (19mm)	6.5 インチ (165mm) 0.75 インチ (19mm)	8 インチ (203mm) —
クロスオーバー周波数	3.0kHz	4.0kHz	4.0kHz
端子 (入力 / ループスルー)	ユーロブロック	ユーロブロック	ユーロブロック
色	白	白	白
寸法 (φ × H)	196 × 207mm	252 × 214mm	345 × 349mm
開口寸法	170mm	225mm	306mm
取付可能板厚	11 ~ 33mm	13 ~ 39mm	10 ~ 33mm
質量	2.7kg	3.5kg	9.1kg

	Control 24CT	Control 26CT	Control 19CST
周波数レンジ (-10dB)	80Hz ~ 20kHz	75Hz ~ 20kHz	42 ~ 200Hz
カバーレージ角 (500Hz ~ 4kHz 平均)	130°	110°	—
許容入力 (プログラム / ピンク)	—	—	—
感度 (1W, 1m)	86dB SPL	89dB SPL	89dB SPL
公称インピーダンス	—	—	—
トランス・タップ	100V 30W, 15W, 7.5W 70V 30W, 15W, 7.5W, 3.7W	60W, 30W, 15W 60W, 30W, 15W, 7.5W	75W, 30W, 15W 75W, 30W, 15W, 7.5W
ドライバー構成	LF 4 インチ (102mm) HF 0.75 インチ (19mm)	6.5 インチ (165mm) 0.75 インチ (19mm)	8 インチ (203mm) —
クロスオーバー周波数	3.0kHz	4.0kHz	4.0kHz
端子 (入力 / ループスルー)	ユーロブロック	ユーロブロック	ユーロブロック
色	白 / 黒 (-BK)	白	白
寸法 (φ × H)	196 × 207mm	252 × 214mm	345 × 349mm
開口寸法	170mm	225mm	306mm
取付可能板厚	11 ~ 33mm	13 ~ 39mm	10 ~ 33mm
質量	3.5kg	4.3kg	9.9kg

	Control 24C Micro	Control 24CT Micro	Control 24CT Micro Plus
周波数レンジ (-10dB)	85Hz ~ 25kHz	85Hz ~ 25kHz	80Hz ~ 25kHz
カバーレージ角 (500Hz ~ 10kHz 平均)	150°	150°	150°
許容入力 (プログラム / ピンク)	30W/15W* ¹	—	—
感度 (1W, 1m)	86dB SPL	86dB SPL	85dB SPL
公称インピーダンス	8 Ω	—	—
トランス・タップ	100V — 70V —	9W, 4W, 2W, 1W 9W, 4W, 2W, 1W, 0.5W	25W, 12W 25W, 12W, 6W
ドライバー構成	LF 4.5 インチ (114mm) HF 0.5 インチ (13mm)	4.5 インチ (114mm) 0.5 インチ (13mm)	4.5 インチ (114mm) 0.5 インチ (13mm)
クロスオーバー周波数	3.5kHz	3.5kHz	3.5kHz
入力端子	ねじ止め	ねじ止め	ねじ止め
色	白	白	白
寸法 (φ × H)	200 × 117mm	200 × 117mm	200 × 115mm
開口寸法	172mm	172mm	172mm
取付可能板厚	10 ~ 30mm	10 ~ 30mm	10 ~ 30mm
質量	1.7kg	2.0kg	2.5kg

※ 1 100 時間、ピンクノイズ : IEC / クレストファクター 6dB

※ 2 100 時間、ピンクノイズ : 40 ~ 400Hz / クレストファクター 6dB

17/08

●商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。●掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。●記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。

HIBINO

http://www.hibino.co.jp/
E-mail: proaudiosales@hibino.co.jp

ヒビノ株式会社 ヒビノプロオーディオセールス Div.

営業部
〒108-0075 東京都港区港南3-5-12
TEL: 03-5783-3110 FAX: 03-5783-3111
札幌オフィス
〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三条1-1-20
TEL: 011-640-6770 FAX: 011-640-6776

大阪ランチ
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8
TEL: 06-6339-3890 FAX: 06-6339-3891
名古屋オフィス
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南3-4-26
TEL: 052-589-2712 FAX: 052-589-2719

福岡ランチ
〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚4-14-6
TEL: 092-611-5500 FAX: 092-611-5509